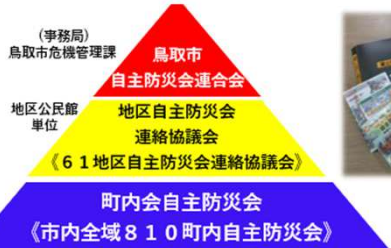


鳥取県内の自主防災組織等

鳥取市 自主防災会連合会



【組織概要】

- H8.5.21活動開始、構成世帯数は81,411世帯。
※61地区自主防災会連絡協議会、810自主防災会
- 地震等の災害に備え、自主防災組織相互間及び関係各機関との連携を密にして、災害発生時における自主防災組織の対応力向上を図っている。
- H16～市町村合併により拡大した広域な市域においても、全市的な防災意識の向上と資機材の整備を推進し、地域による格差のない防災環境の構築に尽力している。

【活動内容】

- 各地区連絡協議会が実施する防災訓練や資機材購入、役員等の知識向上を目的とした研修会などに対して積極的に助成。
- 町内自主防災会に対しても、初期消火器具の整備や各種訓練の実施を支援。
- 防災学習DVDや水消火器等の訓練用資機材を整備し、希望する各自主防災会へ貸し出し。
- 毎年防災ポスターコンクールを実施し、児童生徒から啓発作品を募集。



▶R8鳥取県
自主防災組織等
知事表彰受賞



R7ポスターコンクール受賞作(市長賞)
(小学校の部) 明德小学校 安岡 仁香さん
(中学校の部) 鳥取大学附属中学校 松田 佳菜さん

倉吉市 今西自主防災会



(防災訓練の様子)



▶R8鳥取県自主防災組織等
知事表彰受賞

【組織概要】

- H26.9.1活動開始、構成世帯数は57世帯。
- 「地域住民の防災意識の向上」を主たる目的とし計画的に防災訓練等を実施。

【活動概要】

- 公民館に災害用品(発電機、非常食等)を配備し、自主避難所の開設から避難者の確認・集計までの流れを体験。
- 防災訓練の実施
有事の際に「だれでもなんでもできる」環境を目指すため、性別による役割意識をなくす取り組みを実施。
(例)男性のみでの炊出訓練／女性のみでの放水・リヤカー組立・搬送訓練など。
- 冊子「防災の知識」(基礎的な防災知識、地域が過去の被災した災害一覧等)を作成し、全戸に配布。
- 安否確認の徹底
 - ・LINEグループを活用した住民の安否確認の体制を整備。
 - ・住民の勤務形態や配慮が必要な事項を記した住民リストを作成し、年初の総会において更新
 - ・連絡手段がなくなること防止するため、公民館備え付けの発電機を使用した携帯電話の充電訓練を実施

自治会によるDX活用の取組み

はたがさき 米子市 旗ヶ崎二区自治会

【組織概要】

- 構成世帯数は約360世帯。(＋賛助会員)
- 27班に分かれ、活動中。
- 自治会運営にデジタル(IT)を導入する事で、自治会活動の利便性を高め、自治会員同士の日頃からの繋がりを強化している。

【主な活動概要】

事業部制の廃止

デジタルを活用した
防災情報発信

自治会活動のマニュアル・活動報告の動画化



旗二公式LINEを活用した情報伝達

必要な情報が見やすいメニュー欄を作成し、
回覧物・自治会活動の動画・防災行政無線の放送内容・
地区独自の防災マップ・防災の知識などの閲覧が簡単に！



独自の仕組み作りで
自治会員の9割以上が登録！



ほかにも！

スマホ教室

定期的に自治会有志がスマホ教室を開催しており、個別相談等を通して高齢者を含め多くの方が楽しくスマホを使えるように！



↑スマホ教室で
動画を検索して、
作成した虫よけ

【自治会改革の経緯】

役員の成り手がおらず、
自治会解散の危機に！
(当時の自治会員からの声)
・強制的な役割が負担
・メリットがない
・何をしているのか不明確

改革①活動の見直し
→事業部制の廃止
・希望者が企画、運営
・みんなができることを
できるときにする
・デジタル等、手間の
かからない手段を活用

改革②活動の透明化
→デジタル回覧板・公式LINE
・好きなときに確認できる
・瞬時に情報が届く
・公式LINEは登録者のみに情報が
発信でき、自治会員のメリットに！

※公式LINE未登録
の方には今までど
おり回覧板を回して
います。

- ▶H28鳥取県自主防災組織等知事表彰受賞
- ▶R5鳥取県頑張る住民自治活動団体等知事表彰受賞

自治会改革の詳細
についてはこちら>>
(米子市公式チャンネル)



他にも鳥取県には自治会・防災活動に積極的に取り組んでいる地域がたくさん！

ぜひ鳥取県ホームページ(とりネット)でご確認ください！

▶鳥取県自主防災組織等
知事表彰受賞団体



▶鳥取県頑張る住民自治
活動団体等知事表彰



鳥取県消防防災課